

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371300738
事業所名	グループホーム ハピネス守山

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 開設以来町内会に加入し、日々散歩に出かけ近所の人たちと挨拶を交わしたり、近所の神社にお参りしている。近所の人たちと利用者は顔なじみになり、庭先で話したり、植木を見せてもらったりすることを利用者は楽しんでいる。ボランティアの訪問も定期的にある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年に6回開催され、町内会長、民生委員、区政協力委員、行きつけの薬局薬剤師、協力医の参加がある。協力医、薬剤師が積極的に加わることで参加者は認知症について学ぶこともでき、また、地域の情報交換の場としても活用されている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護者の受け入れをしていることにより、区の保護係の職員が事業所を訪問している。また、区政協力委員やいきいき支援センター職員が運営推進会議に参加することで連携をとっている。区などが主催する外部研修に職員は参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 「ハピネス通信」という利用者の写真入りの便りを毎月発行し、個々の様子を記したコメントを添えて家族へ送付している。家族が面会にくると職員や管理者は積極的に話しかけ利用者の様子を伝え、支援に対する要望や希望があれば聞き取り、何か意見があれば申し送りやカンファレンスを通し共有し取り組むようにしている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				